

No.92

2003

新春号

ほおぷ

ほおぷ新春号 巻頭文

光明理化学工業株式会社 代表取締役社長

北川 不二男



明けましておめでと
うございます。

昨年は皆様方には
種々お世話になり、あ

りがとうございました。本年もより一層のお引き立てを賜
りますよう、宜しく願い申し上げます。

昨年は道路交通法の改正、特化則へのエチレンオキシド
の追加等、当社製品と密接に関わる法改正が実施に移され、
飲酒運転による死者が大幅に減少するなどの社会の動きに、
当社も微力ながら貢献することが出来ました。

また、新築住宅に始まったホルムアルデヒド等によるシ
ックハウスの問題も、職域の管理、学校の教室、ビル管理
等にまで広がり、当社製品がスクリーニングテストその他
の役に立てる場面が広がりつつあります。

技術分野では、湿度の影響を受けない半導体センサが神
奈川県工業技術大賞の奨励賞を受賞、また昭和22年当社
創立のみなもとであります検知管法では、低濃度の限界と
も思われていた1ppbからのアンモニア測定用検知管を共
同研究の鹿島建設株式会社殿のお力により完成、サンプル
配布にこぎつけることが出来ました。

また、会津光明も生産拠点として一層充実し、当社主力
工場として玉川工場をしのぐ生産体制をとれるようになり
ました。

以上のように昨年は充実した年となりましたが、昨今の
経済情勢は緊迫度を高めており、生き残りをかける気持ち
で本年も頑張る所存です。

昨年末の朝日新聞の世論調査によりますと、今の社会を
表現する言葉として「混乱」を選んだ人が一番多く、あと
は「身勝手」、「不公平」と続くとのことでした。

確かに現状の経済状態、国内政治問題、イラク問題、北
朝鮮問題、高速道路問題、税の問題等どれをとっても先の
見えない暗い話ばかりで、本当にまともなこと、希望のも
てる道筋を見分けるのが非常に難しくなってきました。
更に現状を否定的に見ている人が非常に多く、何ともつら
い世の中になったものであります。

このような客観情勢にはありますが、私たちは未来を信
じ希望に胸ふくらませ、明るい夢に向かって力の限り大い
に羽ばたきたいものであります。

まさにこのような世の中だからこそ、悲惨な災害を防止
し、明るく安心な世界を築くために、夢を賭け自分の思う
ところを実現できるように考えたい、これは社員も同じ気
持ちです。社員それぞれが夢を持ち、気力を激しく発揮出
来ような会社にして、良い製品を世に送り出したいと考
えております。

私達はお客様に支えられています。その期待に十分答え
られるような製品を作り上げたい。幸運にも諸先輩からい
ろいろな形の財産を引き継いでいます。世の中にないもの
を作り出す力、それを形にする力、それを生み出すための
種となる情報を集める力、それらをさらに研ぎ澄ましてい
くことが必要です。今年がどのような事になっていくかは
分かりません。不安の中の航海が予想されますが、自分た
ちの力を信じお客様に満足頂けるよう熱っぽく全身で当た
っていくことが次に繋がっていきます。

何事も必ずうまくいくことを信じ切る、明るくほがら
かな笑いを絶やさない、小さな不幸は大きな幸運の道しるべ
であると信じる等々、分かりやすい会社運営をして今年も
積極的にいろいろなことを進めて行きたいと思えます。

当社の社是である“人類社会の安全確保”のための製品
を世に送り出して行くことを確実に実行し、なおかつ新し
いことにもチャレンジして行くつもりであります。

「地道にこつこつと」が先輩諸氏からの基本方針ではありま
すが、社長就任4年目になり少し勝負すべき時とも考えて
おります。

光明理化学工業を温かい心で見守っていただき、よろし
く御指導、ご鞭撻いただきたくましますよう心よりお願い申し
上げます。



KOMYO HAVE AN AMBITION



超高感度アンモニア検知管

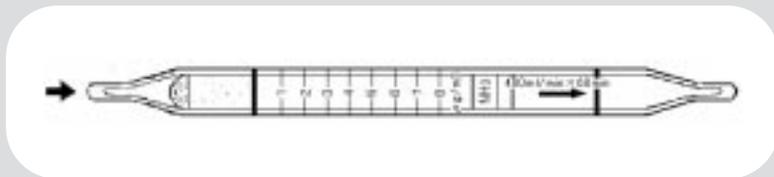
アンモニアは身近にある悪臭成分として知られておりますが、人体や建築物のコンクリート等から放散される極微量のアンモニアが問題になっているケースがあります。

最先端を行く電子デバイスでは、微量のアンモニアがウエハー製造の歩留まりを悪くし、また美術館では油絵の具を劣化させるなどの問題となっています。

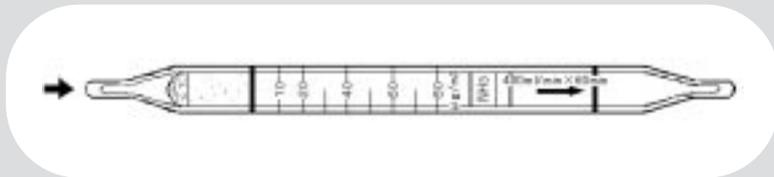
微量のアンモニアを分析するには、大量に空気を捕集して精密分析にかけねばならず、期間と費用がかかりますが、このほど鹿島建設株式会社殿との共同研究で誰にでも簡単にその場で結果が分かる検知管法として完成しました。

半導体製造プロセスでの実用化試験では、精密分析とよい相関を示し十分実用性が有ると判断されました。

クリーンルーム用アンモニア検知管



美術館用アンモニア検知管



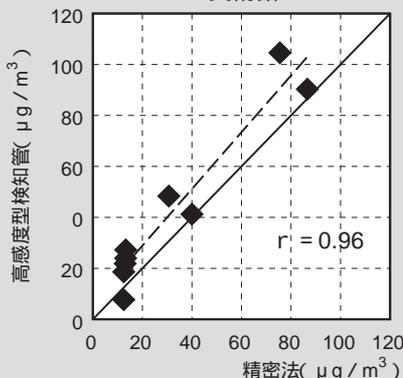
仕様

	クリーンルーム用	美術館用
測定範囲	1 ~ 12 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	10 ~ 80 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
試料採取方法	連続吸引法 (S-23 使用)	
試料採取量	24L (400ml/min × 60min)	
測定時間	60min	
色の変化	淡青色	淡黄色
反応原理	中和反応によりPH指示薬が変色する	
有効期限	2年間 (冷暗所保存)	
使用温度範囲	10 ~ 40	
使用湿度範囲	10 ~ 90%RH	
他のガスの影響	アミン類等の塩基性ガスは+の妨害 酸性ガスは-の妨害	
1箱の測定回数	10回分	



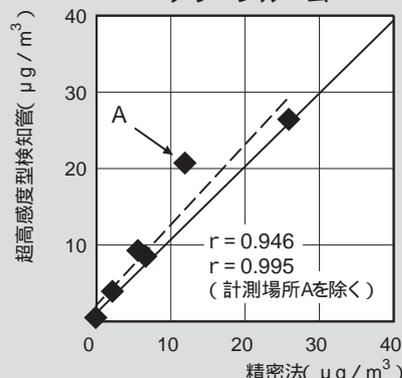
精密法と高感度型検知管の相関

美術館



精密法と高感度型検知管の相関

クリーンルーム



RULES
&
REGULATIONS

建築物における衛生的環境の確保に関する法律 (ビル管法)

建築物における衛生的環境の確保に関する法律 (ビル管法) の下記の改正が行われました。この内容について、ホルムアルデヒドに関する項目について述べます。

厚生労働省政令第309号 (ビル管法) 施行令の一部を改正する政令 (平成14年10月11日発布)

厚生労働省政令第156号 (ビル管法) 施行規則の一部を改正する省令 (平成14年12月3日発布)

建築物衛生法におけるホルムアルデヒド測定の基本方針 (平成15年4月1日より実施)

1. 対象建築物

新築・増築、大規模の修繕、大規模の模様替えを行った特定建築物 (ただし、空調 和設備又は機械換気設備を設けている場合に限る)。

2. 測定時期

新築・増築、大規模の修繕、大規模の模様替えを完了し、当該建築物の使用を開始した時点から直近の6月1日~9月30日の間。

3. 測定方法

(1) 測定器

- 1) DNPH 捕集-HPLC 法により測定する機器
- 2) AHMT 吸光光度法により測定する機器 (AHMT 吸光光度法を原理とした簡易測定器は除く)
- 3) 厚生労働大臣が別に指定する測定器

(2) サンプリング

- 1) 場所: 各階毎の任意の居室
- 2) 時間帯: 通常の使用時間
- 3) 位置: 居室中央部の床上0.75 ~ 1.20mの高さ
- 4) サンプリング数: 1ヶ所につき1サンプル
- 5) サンプリング時間: 30分間
- 6) 測定者: 任意

4. その他

- 1) 厚生労働大臣が別に指定する測定器 (簡易測定法による測定器)

簡易測定法 (検知管法を含む) は評価試験を実施し、結果を検討会で審査し、告示により良いと判断される機器について指定する。

昨年10月第19回神奈川工業技術大賞奨励賞を受賞いたしました。

湿度補償型熱線型半導体式センサ

Methane Selective and Humidity Compensation Hot-wire Semiconductor Type Gas Sensor

化学プラント、火力発電所などでは、化学物質や燃料等の漏洩を早期に検知することが必要で、寿命が長く低コストの半導体センサが使用されています。従来の半導体センサは湿度によって濃度指示値が変化する欠点がありましたが、今回受賞した半導体センサは水分による出力をキャンセルする技術に成功し、湿度による影響を受けずゼロ点が非常に安定した状態を保つことが出来ます。

開発したセンサにより、誤警報のおそれなしに低濃度検知、早期漏洩検知が可能となりました。

特長

ゼロの安定性が優れています。(温湿度の影響を受けない)

従来のセンサに比べて低濃度警報が可能です。(漏洩の早期検知が可能)

低濃度の感度が高いため、有機溶剤ガスの許容濃度等の警報が可能です。

(但しガス種によっては、許容濃度警報は出来ませんので、営業窓口までお問い合わせ願います)

長期安定性に優れているため、メンテナンス周期を長くすることができ、ランニングコストの低減が可能です。

仕様

名称 湿度補償型熱線型半導体式センサ

型式 SC-401型

対象ガス 空気中の可燃性ガス(漏洩検知用)

濃度範囲 0 ~ 2,000ppm (対象ガスにより範囲が異なります)

名称 メタン選択性湿度補償型熱線型半導体式センサ

型式 SC-403型

対象ガス 空気中のメタンガス(漏洩検知用)

濃度範囲 0 ~ 2,000ppm or 5,000ppm

名称 高感度湿度補償型熱線型半導体式センサ

型式 SC-404型

対象ガス 空気中の可燃性ガス(主に有機溶剤ガスの漏洩検知用)

濃度範囲 0 ~ 500ppm (検知対象ガスにより範囲が異なります)

全型式共通

使用条件 温度: -10 ~ 40

湿度: 95%RH以下(但し、結露のないこと)

防爆構造 d2G4 検知器対応

メタン選択性湿度補償型熱線型半導体式センサ

Fig 1 Sensitivity characteristic.

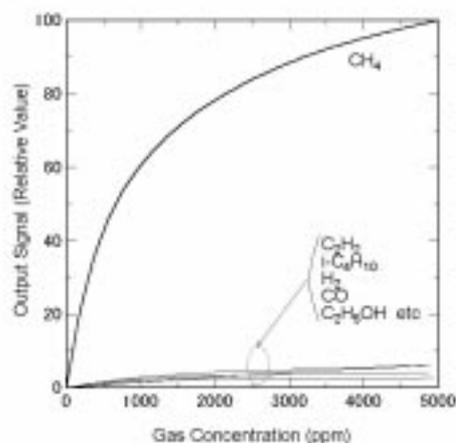
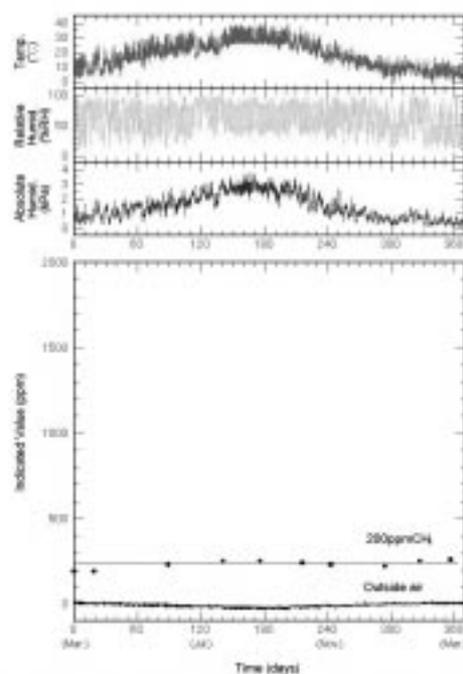


Fig 2 Long-term stability on field.



私の数ある趣味の一つに、登山がある。登山は、一般登山道の縦走から冬山登山まで様々やっている。「そこに山があるから。」のような理由もあるが、皆があまり行けないところへ行きたいからだ。しかし、それにはリスクが伴う。安全登山の面では、近年の優れた登山道具の使用や、登山会で登山技術の訓練などで学んでいる。これにより、自らの登坂技術のレベルアップをさせ、また新たな場所に挑んでいく。けれどもそのレベルアップをする過程で、ふと現実に戻ることもある。

私の中で一番そうさせるのは、ロッククライ

ミングの時である。ロッククライミングは、岩山において初心者でも登れるものから、かなりの熟練者が登るルートがあり、上達していくうちに、難しいルートに挑む向上心やルートを制覇した達成感を味わえて、とても楽しいが、やはり、その難しいルートを越えるときに、ふと一歩が踏み出せず登れなくなってしまう。落ちたときの自分の怪我の大きさやその後の周りへの影響。現に今「身近で起こった事故」、逆の立場を経験すると、その気持ちは大きくなっているのが本音である。しかし、この身近の失敗から学び取り、次に生かし、また一歩踏み出せ

るのだと思う。

人生にも同じ事が言える。行き詰まったとき、失敗や経験を生かし、乗り越え、成し遂げた達成感うれしいものである。皆さんも一つの人生を経験しに、登山してみませんか？ただし、趣味を越えた行動には、お気を付けを...。(H)



ドキドキワクワク海外研修

入社後、早35年が経過し、時の流れの速さに驚く事しきりの今日この頃です。入社時は製造2課に配属になり、その後、サービ課・営業課と移動し、現在、なにわの地で、阪神ファンになった私は、必死に走り回っております。営業の仕事に、製造・サービス課の時に取得した技術が、現場の状況等非常に役に立っています。

今までの出張は、北は北海道、南は沖縄と行きましたが、海外出張は初めての経験でした。初めてづくしのため、出発が決まってからは、渡航準備に大わらわ状態

で、自分で何を揃えれば良いのか、パニックに陥り大変でした。しかし、海外出張経験者の方々からの的確なアドバイスを受け、往復の機内は無事に過ごせましたが、機外に降りた途端にエコノミー症候群に掛かり、早々にアドバイスを貰っていた「太田胃散」を服用する事になりました。服用後

スッキリとなり、以降の研修会はつつがなく無事に遂行する事ができました。今回研修に参加した各企業の年齢は、若い方が30歳、上は50歳で、ハッキリ言って、押しの強さの中年パワーで、色んな意味で楽し・恥かしの研修でしたが、非常に有意義な海外研修でした。

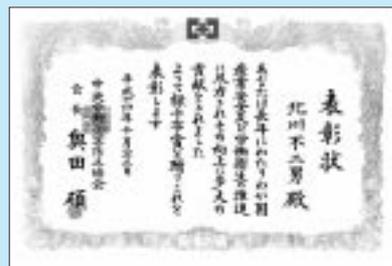
また、帰国後は、10月に福岡で開催された緑十字展で、各企業の研修会参加者と旧交を温める事が出来ました。誌面を借りて、海外研修と一緒に参加された方々に、改めて感謝致します。(O)



お知らせ

緑十字賞受賞

弊社社長北川不二男は、産業安全及び労働衛生の推進に尽力したことにより、全国安全衛生大会(中央労働災害防止協会 殿主催、平成14年10月23日福岡市)において、緑十字賞を受賞しました。



KOMYO CALENDAR

1 JAN	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31		

2 FEB	日	月	火	水	木	金	土
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28		

3 MAR	日	月	火	水	木	金	土
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29	

光明理化学工業株式会社

本社 〒152-8503 東京都目黒区中央町1-8-24
 ☎(03)5704-3511(代) FAX.(03)5704-3316
 大阪支店 〒530-0043 大阪市北区天満4丁目13番6号
 ☎(06)6354-5800(代) FAX.(06)6354-5801
 福岡営業所 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3丁目27番1号
 ☎(092)431-8803 FAX.(092)481-5037

ホームページ <http://www.komyokk.co.jp>

札幌営業所 〒003-0807 札幌市白石区菊水七条2-7-1(SEビル5F)
 ☎(011)815-1121 FAX.(011)815-1106
 北関東営業所 〒362-0048 埼玉県上尾市大字川236-1(第三加藤ビル)
 ☎(048)725-5682 FAX.(048)781-3078
 名古屋営業所 〒460-0015 名古屋市中区大井町3-15(日重ビル3F)
 ☎(052)332-5175 FAX.(052)332-5176

【ほおぶ】No.92(2003・春号)

発行日: 2003年1月30日
 発行元: 光明理化学工業株式会社
 編集: ほおぶ編集委員会
 編集責任者: 久保田
 “ほおぶ”に関するお問合せは
 左記の本社 TEL・FAX です